

2018年4月10日

下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会座長  
日本大学生産工学部土木工学科教授 森田弘昭様

ごみ・環境ビジョン 21

〒184-0013 東京都小金井市前原町 4-11-15 井上方

TEL/FAX 042-383-1668

<http://gomikan21.com/>

### 要望書

私たち「ごみ・環境ビジョン 21」は、1998年の発足以来、20年にわたりごみ問題に関する啓発や情報提供などの活動を続けております。全国に約 150 人の会員を擁し、情報誌「ごみっと・SUN」の発行（16 ページ・隔月）、「市民ごみ大学セミナー」（年 2 回）や「生ごみリサイクル交流集会」（年 1 回）の開催、ホームページによる情報提供などを行っております

貴検討会では、介護や育児の負担を減らすため、使用済み紙オムツを粉砕して下水道に流すことを検討していくとのことですが、紙オムツは大部分がプラスチックでできていることから、川や海のマイクロプラスチック汚染が拡大することを、私たちは懸念しています。

粉砕されたプラスチックのうち、大きな破片は下水処理場の排水フィルターで濾過され除去されますが、微細な破片は排水フィルターをくぐりぬけて、マイクロプラスチックとして川や海に流出する可能性があります。

海のマイクロプラスチック汚染は、いま地球温暖化と並んで、最も重要な地球規模の環境問題となっており、国連や各国がその防止策に乗り出しています。

貴検討会の計画は、これらの動きに逆行するものであり、国際的にも問題になりかねないと思われまます。

また、紙オムツを下水道に流せるとなれば、それ以外のプラスチックごみも下水道に流されることが考えられますが、その歯止めをかけられるでしょうか。

以上のようなことが懸念されることから、この計画の中止を強く要望します。

以上